

## 2. ゴルフ場業において高齢者の活躍を検討するための3つの視点

ゴルフ場業は大きく「コース管理業務」「キャディ業務」「レストラン業務」「事務・営業」の4つの職種に分けられます。こうした特徴を踏まえ、ゴルフ場業において高齢社員の能力を積極的に評価し、貴重な人材として活躍してもらうためには、以下の3つの視点を踏まえて方策を検討していくことが重要になります。

- ①高齢者雇用の現状と課題、あり方については、ゴルフ場全体としての検討に加えて、この4つの職種ごとに検討する必要があります。
- ②社員に占めるパート等非正社員の比率が高く（特にキャディ等）、また、多様な雇用区分に基づき働いている者が多いので、社員を画一的に管理することは得策ではありません。一人ひとりの特徴、事情を踏まえた「個別管理」の発想が重要です。
- ③ゴルフ場の所在地や経営方針の相違等により、外部環境や人材の活用の仕方が異なります。高齢者雇用のあり方・方向性、具体的な対応もそれぞれの特徴を踏まえることが求められます。

## 3. ゴルフ場業における高齢者の活躍を検討するためのポイント

ゴルフ場業において高齢者の活躍を検討するためのポイントは以下のとおりです。

- ゴルフ場全体として的高齢者雇用の推進に向けた取り組み
  - (1) 採用活動の工夫…高齢者の新規雇用も視野に
  - (2) 各種制度の見直しの際には非正社員も視野に入れる
  - (3) 「個別管理」の考え方に基づき、きめの細かい労務管理を行う
  - (4) 世代や職場を超えてコミュニケーションを深める
  - (5) ゴルフ場だからこそ「健康経営」に積極的に取り組む
- コース管理業務における高齢者雇用の推進に向けた取り組み
  - (1) 社員一人ひとりの経験や技術・技能にふさわしい仕事を割り振る
  - (2) 技能継承を進め、キーパー及びコース管理職の世代交代を円滑に行う
  - (3) 野外作業が中心なので安全面の配慮も欠かせない
  - (4) 高齢に至る前からの健康管理が重要
- キャディ業務における高齢者雇用の推進に向けた取り組み
  - (1) 長く働いてもらうためには日頃の健康・体力面への配慮が重要
  - (2) 必要に応じて仕事の負荷を軽減する
  - (3) 円滑なコミュニケーションを促す
  - (4) 頑張りに報いる賃金・処遇制度とする
  - (5) 他業界経験者の視点を経営に活かす
- レストラン業務における高齢者雇用の推進に向けた取り組み
  - (1) コミュニケーションを密にし、おたがいさまの精神で働くよう促す
  - (2) ゴルフ場のレストランで働くという意義を見出す
  - (3) “レストランを主役としたゴルフ場”といった発想も
- 事務・営業職種における高齢者雇用の推進に向けた取り組み
  - (1) キャリアアップやスキルアップを支援する
  - (2) 短日・短時間勤務を拡充する